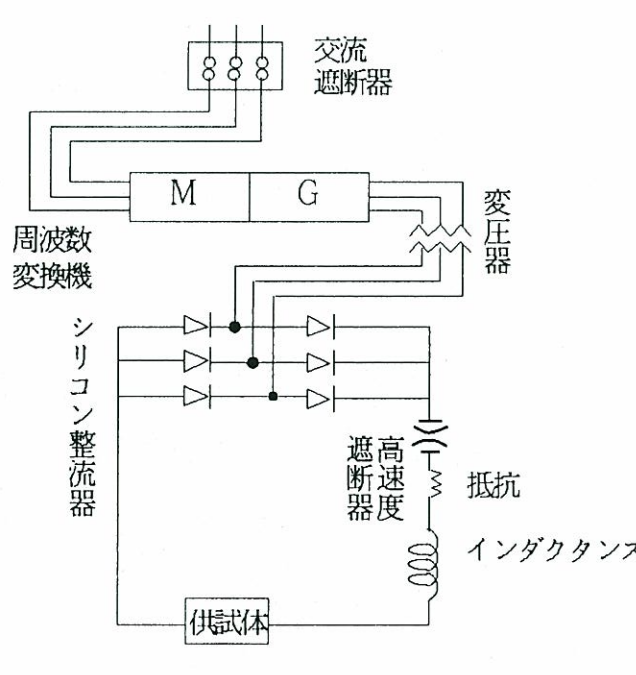
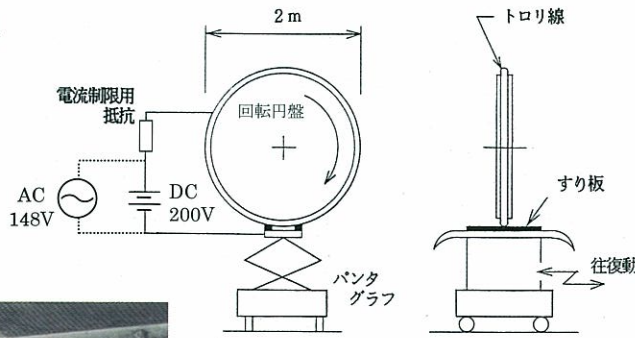
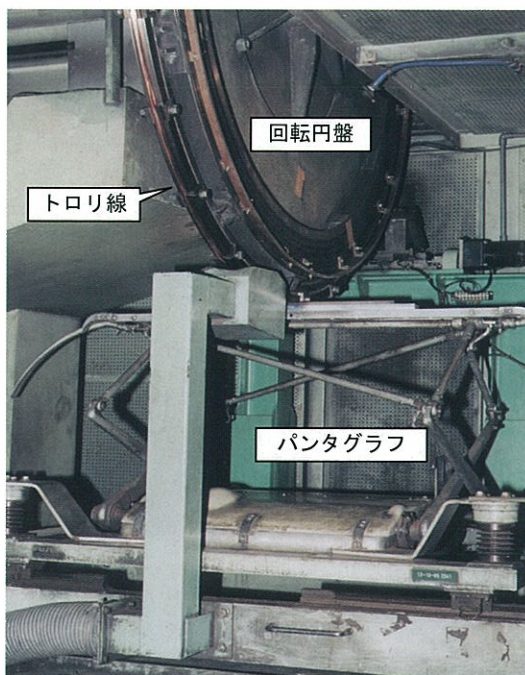
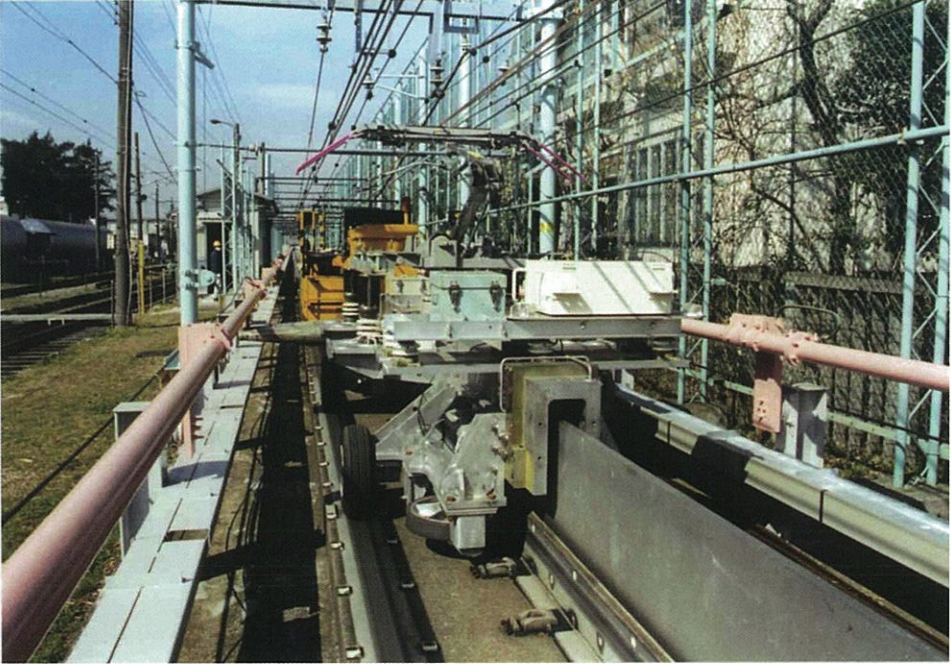


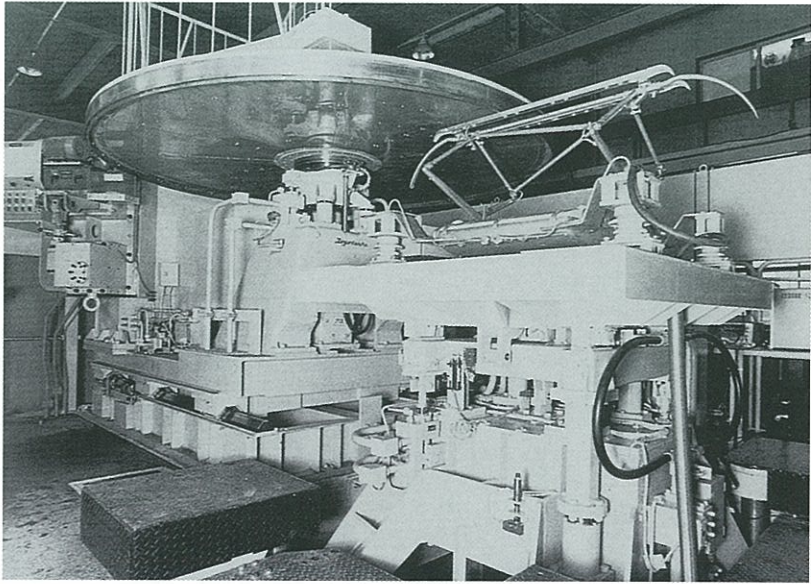
名 称	直 流 低 圧 大 電 流 試 験 装 置															
概 要	通電電流値を自由に設定することができる試験装置で、直流低圧（20V）で最大10,000A まで通電できます。特に、電線やレールといった電気抵抗値の小さな部材に大電流を長時間通電する際に非常に有効な装置です。															
特徴・諸元	<p>この試験装置は、制御盤、誘導電圧調整器、変圧器、整流器から構成されています。受電した交流6,600V を降圧し、整流器により交流から直流に整流することで、直流20V で最大10,000A を得ています。</p> <p>◆ 主 要 諸 元</p> <table border="1" data-bbox="311 582 1436 862"> <tr> <td data-bbox="311 582 574 616">〔受電電圧〕</td> <td data-bbox="574 582 1436 616">交流6,600V</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 616 574 649">〔誘導電圧調整器〕</td> <td data-bbox="574 616 1436 649">二次側電圧設定範囲4,620V～ 8,580V</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 649 574 683">〔変圧器〕</td> <td data-bbox="574 649 1436 683">一次側入力電圧 8,580V</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 683 574 716"></td> <td data-bbox="574 683 1436 716">二次側出力電圧 21.5/14.0/10.5V（無電圧タップ切換）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 716 574 750">〔整流器〕</td> <td data-bbox="574 716 1436 750">容量 200kW（1時間定格）、最大500A(50A きざみで設定可能)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 750 574 784">〔通電電流〕</td> <td data-bbox="574 750 1436 784">直列接続時の直流出力電圧・電流 40V、5,000A</td> </tr> <tr> <td data-bbox="311 784 574 817"></td> <td data-bbox="574 784 1436 817">並列接続時の直流出力電圧・電流 20V、10,000A</td> </tr> </table>		〔受電電圧〕	交流6,600V	〔誘導電圧調整器〕	二次側電圧設定範囲4,620V～ 8,580V	〔変圧器〕	一次側入力電圧 8,580V		二次側出力電圧 21.5/14.0/10.5V（無電圧タップ切換）	〔整流器〕	容量 200kW（1時間定格）、最大500A(50A きざみで設定可能)	〔通電電流〕	直列接続時の直流出力電圧・電流 40V、5,000A		並列接続時の直流出力電圧・電流 20V、10,000A
〔受電電圧〕	交流6,600V															
〔誘導電圧調整器〕	二次側電圧設定範囲4,620V～ 8,580V															
〔変圧器〕	一次側入力電圧 8,580V															
	二次側出力電圧 21.5/14.0/10.5V（無電圧タップ切換）															
〔整流器〕	容量 200kW（1時間定格）、最大500A(50A きざみで設定可能)															
〔通電電流〕	直列接続時の直流出力電圧・電流 40V、5,000A															
	並列接続時の直流出力電圧・電流 20V、10,000A															
	<div data-bbox="470 929 1284 1355" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="829 1355 933 1400">装置外観</p> <div data-bbox="470 1478 1284 1904" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="734 1915 1029 1960">レール溶損障害の再現試験</p>															
担当部署	電力技術研究部 き電															

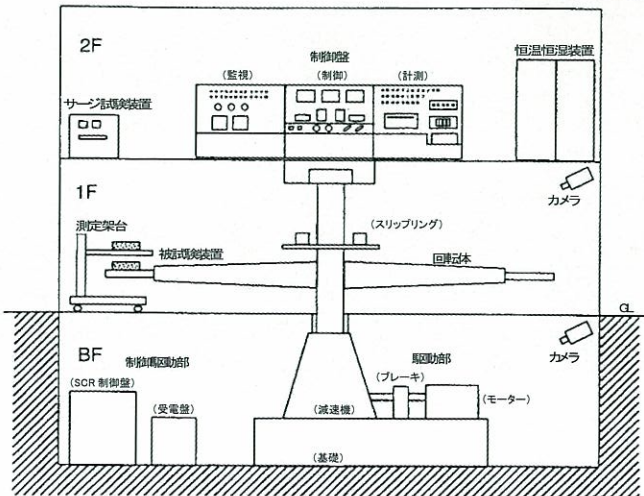

名称	直流高電圧試験回路装置							
概要	直流1.5kVおよび3kV回路の変電所用や車両用高速度遮断器の性能試験や絶縁物の絶縁性能試験ができます。							
特徴・諸元	<p>試験にあたっては直流変換装置の交流側にある周波数変換機（FC）を回転させておき、試験開始時にFCの電源側を開放してから、直流側で短絡試験を行うので電源への影響はありません。</p> <p>◆ 主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="327 504 1428 996"> <tr> <td data-bbox="327 504 582 571">〔主な性能〕</td> <td data-bbox="582 504 1428 571">電圧直流1.5kV、3kV、実電流50kA、推定短絡電流100kA</td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 571 582 750">〔周波数変換装置〕</td> <td data-bbox="582 571 1428 750"> 50Hz商用周波から60Hz商用周波に変換 電動機 6.6kV 3000kW 発電機 6.6kV 連続3000kVA 短絡容量15000kVA </td> </tr> <tr> <td data-bbox="327 750 582 996">〔直流電源発生装置〕</td> <td data-bbox="582 750 1428 996"> 交流6kVから直流1.5kVに変換する。 整流器 6000kW×2台 直流高速度遮断器 3台 可変抵抗 0～2.3Ω 可変インダクタンス 0～14mH </td> </tr> </table>		〔主な性能〕	電圧直流1.5kV、3kV、実電流50kA、推定短絡電流100kA	〔周波数変換装置〕	50Hz商用周波から60Hz商用周波に変換 電動機 6.6kV 3000kW 発電機 6.6kV 連続3000kVA 短絡容量15000kVA	〔直流電源発生装置〕	交流6kVから直流1.5kVに変換する。 整流器 6000kW×2台 直流高速度遮断器 3台 可変抵抗 0～2.3Ω 可変インダクタンス 0～14mH
〔主な性能〕	電圧直流1.5kV、3kV、実電流50kA、推定短絡電流100kA							
〔周波数変換装置〕	50Hz商用周波から60Hz商用周波に変換 電動機 6.6kV 3000kW 発電機 6.6kV 連続3000kVA 短絡容量15000kVA							
〔直流電源発生装置〕	交流6kVから直流1.5kVに変換する。 整流器 6000kW×2台 直流高速度遮断器 3台 可変抵抗 0～2.3Ω 可変インダクタンス 0～14mH							
担当部署	<div style="text-align: center;">  <p>試験回路図</p> </div>							
電力技術研究部	き電							

名 称	電 線 振 動 試 験 機													
概 要	<p>電車線路の線条や金具がパンタグラフの通過に伴う振動によって疲労損傷を受ける状況を室内で模擬し、疲労寿命の推定や寿命延伸策の検討を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線条の張力負荷状態での振動疲労試験 ・電車線金具の振動耐久試験 													
特徴・諸元	<p>電車線に使用されている吊架線、補助吊架線、トロリ線に相当する3条の線条を取付けることができ、トロリ線の中央部を上下方向に加振して試験を行います。加振は油圧サーボ機構により行い、加振波形は正弦波、三角波、矩形波のほか、アナログ電圧による外部入力信号による制御も可能です。いずれの線条が破断した場合も加振は自動的に停止し、振動回数は操作盤に表示され、停電時においてもそのカウント数は保持されます。</p> <p>◆ 主 要 諸 元</p> <table border="1" data-bbox="304 658 1430 1122"> <tr> <td data-bbox="304 658 571 719">〔振動径間〕</td> <td data-bbox="571 658 1430 719">2～10m, 1m刻みで設定可能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 719 571 779">〔線条張力〕</td> <td data-bbox="571 719 1430 779">各線条最大張力；30kN, 総張力；60kN</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 779 571 840">〔上下加振〕</td> <td data-bbox="571 779 1430 840">加振方式；油圧サーボ式 最大加振力；動的±5kN, 静的±7.5kN</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 840 571 900">〔加振周波数〕</td> <td data-bbox="571 840 1430 900">0.001～10Hz（正弦波において）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 900 571 960">〔加振振幅〕</td> <td data-bbox="571 900 1430 960">±100mm/2Hz, ±60mm/5Hz, ±20mm/10Hz （正弦波、無負荷において）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 960 571 1122">〔試験波形〕</td> <td data-bbox="571 960 1430 1122">正弦波、三角波、矩形波および外部入力信号</td> </tr> </table>		〔振動径間〕	2～10m, 1m刻みで設定可能	〔線条張力〕	各線条最大張力；30kN, 総張力；60kN	〔上下加振〕	加振方式；油圧サーボ式 最大加振力；動的±5kN, 静的±7.5kN	〔加振周波数〕	0.001～10Hz（正弦波において）	〔加振振幅〕	±100mm/2Hz, ±60mm/5Hz, ±20mm/10Hz （正弦波、無負荷において）	〔試験波形〕	正弦波、三角波、矩形波および外部入力信号
〔振動径間〕	2～10m, 1m刻みで設定可能													
〔線条張力〕	各線条最大張力；30kN, 総張力；60kN													
〔上下加振〕	加振方式；油圧サーボ式 最大加振力；動的±5kN, 静的±7.5kN													
〔加振周波数〕	0.001～10Hz（正弦波において）													
〔加振振幅〕	±100mm/2Hz, ±60mm/5Hz, ±20mm/10Hz （正弦波、無負荷において）													
〔試験波形〕	正弦波、三角波、矩形波および外部入力信号													
	<div data-bbox="445 1236 1289 1834" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="794 1839 922 1868">装置概要図</p>													
担当部署	電力技術研究部 集電管理													

名称	集電摩耗試験機													
概要	<p>トロリ線とパンタグラフすり板の通電摩耗試験を行う装置です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試作トロリ線、すり板の摩耗試験 ・速度、電流、押付力等の要因がトロリ線、すり板の摩耗に及ぼす影響の調査 ・散水が摩耗に及ぼす影響の調査 													
特徴・諸元	<p>本装置は実物のトロリ線を取り付けて試験が行えます。直径2mの回転円盤の外周にトロリ線を取り付け、パンタグラフ（新幹線用PS200 A）に取り付けたすり板としゅう動させます。すり板が局部的に摩耗しないように、本装置ではパンタグラフを左右に往復動させて試験を行います。しゅう動部に散水しながらの摩耗試験も可能です。</p> <p>◆主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="320 616 1449 958"> <tr> <td data-bbox="320 616 587 660">〔トロリ線〕</td> <td data-bbox="587 616 1449 728">JISE2101「みぞ付き硬銅トロリ線」の公称断面積110mm² および170mm²に準ずるみぞ部形状を有するトロリ線、TA(銅心アルミ)トロリ線、その他のトロリ線についても、取付用の金具を製作することにより対応可能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 728 587 772">〔すり板〕</td> <td data-bbox="587 728 1449 772">実物大のもの（長さ270mm、取付ねじ間隔200mm）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 772 587 817">〔最高しゅう動速度〕</td> <td data-bbox="587 772 1449 817">250km/h</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 817 587 862">〔押付荷重〕</td> <td data-bbox="587 817 1449 862">標準54N(パンタグラフのばねにより調節可能)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 862 587 907">〔通電電流〕</td> <td data-bbox="587 862 1449 907">直流200V、最大500A(50A きざみで設定可能) 交流148V、最大350A(35A きざみで設定可能)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 907 587 958">〔パンタグラフ往復動〕</td> <td data-bbox="587 907 1449 958">振幅左右200mm、周期可変</td> </tr> </table>		〔トロリ線〕	JISE2101「みぞ付き硬銅トロリ線」の公称断面積110mm ² および170mm ² に準ずるみぞ部形状を有するトロリ線、TA(銅心アルミ)トロリ線、その他のトロリ線についても、取付用の金具を製作することにより対応可能	〔すり板〕	実物大のもの（長さ270mm、取付ねじ間隔200mm）	〔最高しゅう動速度〕	250km/h	〔押付荷重〕	標準54N(パンタグラフのばねにより調節可能)	〔通電電流〕	直流200V、最大500A(50A きざみで設定可能) 交流148V、最大350A(35A きざみで設定可能)	〔パンタグラフ往復動〕	振幅左右200mm、周期可変
〔トロリ線〕	JISE2101「みぞ付き硬銅トロリ線」の公称断面積110mm ² および170mm ² に準ずるみぞ部形状を有するトロリ線、TA(銅心アルミ)トロリ線、その他のトロリ線についても、取付用の金具を製作することにより対応可能													
〔すり板〕	実物大のもの（長さ270mm、取付ねじ間隔200mm）													
〔最高しゅう動速度〕	250km/h													
〔押付荷重〕	標準54N(パンタグラフのばねにより調節可能)													
〔通電電流〕	直流200V、最大500A(50A きざみで設定可能) 交流148V、最大350A(35A きざみで設定可能)													
〔パンタグラフ往復動〕	振幅左右200mm、周期可変													
	<p style="text-align: center;">集電摩耗試験機の概要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>試験状況</p> </div> </div>													
担当部署	電力技術研究部 集電管理													

名 称	集電試験装置																																											
概 要	<p>実物のパンタグラフを搭載できるリニアモータ駆動の走行台車が、全長500mの走行路を最高速度約200km/hで走行できます。走行路上には、各種の電車線が設備可能で、以下の試験に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンタグラフの性能評価 ・電車線の性能評価 ・電車線金具類の性能評価 																																											
特徴・諸元	<p>走行路、走行台車、走行操作室、測定室により構成されています。走行台車上パンタグラフのデータは、無線テレメータにより測定室に送信されます。各種の電車線用支持物、張力調整装置等が設備されており、カテナリ架線のみならず、剛体電車線、サードレールなどにも対応できます。</p> <p>◆ 主 要 諸 元</p> <table border="1" data-bbox="304 651 1430 1211"> <tr> <td data-bbox="304 651 592 696">〔走行台車〕</td> <td colspan="2" data-bbox="592 651 1430 696"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 696 592 741">搭載可能パンタグラフ</td> <td colspan="2" data-bbox="592 696 1430 741">在来線用パンタグラフ、新幹線用パンタグラフ その他のパンタグラフ、集電靴等も対応可能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 741 592 786">テレメータ</td> <td data-bbox="592 741 751 786">チャンネル数</td> <td data-bbox="751 741 1430 786">4チャンネル</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 786 751 831">測定周波数</td> <td data-bbox="751 786 1430 831">0～500Hz</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 831 751 875">測定項目</td> <td data-bbox="751 831 1430 875">直流電圧、動歪み、加速度等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 875 592 920">〔走行路〕</td> <td colspan="2" data-bbox="592 875 1430 920"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 920 592 965">構成</td> <td data-bbox="592 920 751 965">全長</td> <td data-bbox="751 920 1430 965">500m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 965 751 1010">加速区間</td> <td data-bbox="751 965 1430 1010">240m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 1010 751 1055">定速（惰行）走行区間</td> <td data-bbox="751 1010 1430 1055">70m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 1055 751 1099">ブレーキ区間</td> <td data-bbox="751 1055 1430 1099">190m</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="592 1099 751 1144">鋼管柱間隔</td> <td data-bbox="751 1099 1430 1144">10m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1144 592 1189">電車線路支持物</td> <td colspan="2" data-bbox="592 1144 1430 1189">シンプルカテナリ、ヘビーコンパウンドカテナリ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1189 592 1234">標準設備電車線</td> <td colspan="2" data-bbox="592 1189 1430 1234">その他の電車線も対応可能</td> </tr> <tr> <td data-bbox="304 1234 592 1279">測定項目</td> <td colspan="2" data-bbox="592 1234 1430 1279">電車線の押上量、歪み、加速度、離線等</td> </tr> </table>		〔走行台車〕			搭載可能パンタグラフ	在来線用パンタグラフ、新幹線用パンタグラフ その他のパンタグラフ、集電靴等も対応可能		テレメータ	チャンネル数	4チャンネル		測定周波数	0～500Hz		測定項目	直流電圧、動歪み、加速度等	〔走行路〕			構成	全長	500m		加速区間	240m		定速（惰行）走行区間	70m		ブレーキ区間	190m		鋼管柱間隔	10m	電車線路支持物	シンプルカテナリ、ヘビーコンパウンドカテナリ		標準設備電車線	その他の電車線も対応可能		測定項目	電車線の押上量、歪み、加速度、離線等	
〔走行台車〕																																												
搭載可能パンタグラフ	在来線用パンタグラフ、新幹線用パンタグラフ その他のパンタグラフ、集電靴等も対応可能																																											
テレメータ	チャンネル数	4チャンネル																																										
	測定周波数	0～500Hz																																										
	測定項目	直流電圧、動歪み、加速度等																																										
〔走行路〕																																												
構成	全長	500m																																										
	加速区間	240m																																										
	定速（惰行）走行区間	70m																																										
	ブレーキ区間	190m																																										
	鋼管柱間隔	10m																																										
電車線路支持物	シンプルカテナリ、ヘビーコンパウンドカテナリ																																											
標準設備電車線	その他の電車線も対応可能																																											
測定項目	電車線の押上量、歪み、加速度、離線等																																											
																																												
担当部署	電力技術研究部 電車線構造																																											

名称	パンタグラフ総合試験装置							
概要	<p>パンタグラフに関する以下の性能試験を行うことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追従特性測定 ・ 離線率測定（速度300km/hまで） ・ 耐久性試験 ・ 通電試験 ・ その他摺動部材の特性試験 							
特徴・諸元	<p>回転円盤、パンタグラフ振動台より構成されています。回転円盤には周長10mの銅製模擬トロリ線が取り付けられており、周速300km/hまで運転可能です。回転円盤およびパンタグラフ振動台はそれぞれ独立に加振することができ、パンタグラフと模擬トロリ線を摺動させながら加振試験を行うことができます。また模擬トロリ線を切削することにより凹凸を付けることが可能です。</p> <p>◆ 主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="320 689 1445 1256"> <tbody> <tr> <td data-bbox="320 689 587 949">〔回転円盤〕</td> <td data-bbox="587 689 1445 949"> <p>速度 周速：35～300km/h</p> <p>左右動 振幅：±200mm 周期約30秒</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0～17Hz</p> <p>トロリ線凹凸 波長：100～5000mmの10段階</p> <p>波高：p-p 0.5～5.0mmの5段階</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 949 587 1196">〔パンタ加振台〕</td> <td data-bbox="587 949 1445 1196"> <p>最大搭載重量 300kg</p> <p>最大昇降範囲 1600mm</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0.5～10Hz</p> <p>前後動 振幅：最大±5mm</p> <p>振動数：3～25Hz</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1196 587 1256">〔通電容量〕</td> <td data-bbox="587 1196 1445 1256">AC/DC 100V 100,200,300,400A</td> </tr> </tbody> </table>		〔回転円盤〕	<p>速度 周速：35～300km/h</p> <p>左右動 振幅：±200mm 周期約30秒</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0～17Hz</p> <p>トロリ線凹凸 波長：100～5000mmの10段階</p> <p>波高：p-p 0.5～5.0mmの5段階</p>	〔パンタ加振台〕	<p>最大搭載重量 300kg</p> <p>最大昇降範囲 1600mm</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0.5～10Hz</p> <p>前後動 振幅：最大±5mm</p> <p>振動数：3～25Hz</p>	〔通電容量〕	AC/DC 100V 100,200,300,400A
〔回転円盤〕	<p>速度 周速：35～300km/h</p> <p>左右動 振幅：±200mm 周期約30秒</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0～17Hz</p> <p>トロリ線凹凸 波長：100～5000mmの10段階</p> <p>波高：p-p 0.5～5.0mmの5段階</p>							
〔パンタ加振台〕	<p>最大搭載重量 300kg</p> <p>最大昇降範囲 1600mm</p> <p>上下動 振幅：最大±35mm（振動数に依存）</p> <p>振動数：0.5～10Hz</p> <p>前後動 振幅：最大±5mm</p> <p>振動数：3～25Hz</p>							
〔通電容量〕	AC/DC 100V 100,200,300,400A							
	 <p style="text-align: center;">装置全体図</p>							
担当部署	鉄道力学研究部 集電力学							

名称	高速回転試験装置															
概要	<p>回転体の先端と床上の測定架台にそれぞれ被試験機器を取り付け、回転体を回転させることにより列車の高速走行を模擬して、以下のような性能試験ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在来線ATS受信器のような高速応答特性試験 ・新幹線地点検知装置の高速応答特性試験 ・その他、地上と車上が点制御を行うときの伝送に関する試験 															
特徴・諸元	<p>各種の安全対策はもとより、自動運転、被試験機器との情報授受機能を有し、集中制御盤からの操作で現車走行と同様な試験が行えます。また、恒温恒湿装置、サージ試験装置も備えており、温度・湿度の環境条件下および電磁気の環境条件下での試験が可能です。</p> <p>◆主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="304 616 1433 1211"> <tr> <td data-bbox="320 629 571 840">〔回転装置〕</td> <td data-bbox="571 629 1433 840"> 電動モータ駆動 回転体の長さ 最大搭載重量 設定加減速度 運転制御 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 840 571 947">〔計測制御〕</td> <td data-bbox="571 840 1433 947"> 最大周速 400km/h 直径 9.55m (円周30m) 50kg 0.5~5km/h/s 自動 (プログラム制御) および手動 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 947 571 1055">〔監視装置〕</td> <td data-bbox="571 947 1433 1055"> スリップリング フォトカプラ 20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1055 571 1193">〔その他設備〕</td> <td data-bbox="571 1055 1433 1193"> 監視警報機能 モニター 各部電圧、電流、油圧、温度、回転体の振動 回転室、機器室のITVによる監視 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1093 571 1126">〔計測制御〕</td> <td data-bbox="571 1093 1433 1126"> 自動 (プログラム制御) および手動 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1126 571 1160">〔監視装置〕</td> <td data-bbox="571 1126 1433 1160"> 20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="320 1160 571 1193">〔その他設備〕</td> <td data-bbox="571 1160 1433 1193"> 高速ビデオ装置 恒温恒湿装置 サージ試験装置 VHS、200コマ/秒 -30℃~+80℃ 100ns~100μs幅、800V_{P-P} </td> </tr> </table>		〔回転装置〕	電動モータ駆動 回転体の長さ 最大搭載重量 設定加減速度 運転制御	〔計測制御〕	最大周速 400km/h 直径 9.55m (円周30m) 50kg 0.5~5km/h/s 自動 (プログラム制御) および手動	〔監視装置〕	スリップリング フォトカプラ 20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下)	〔その他設備〕	監視警報機能 モニター 各部電圧、電流、油圧、温度、回転体の振動 回転室、機器室のITVによる監視	〔計測制御〕	自動 (プログラム制御) および手動	〔監視装置〕	20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下)	〔その他設備〕	高速ビデオ装置 恒温恒湿装置 サージ試験装置 VHS、200コマ/秒 -30℃~+80℃ 100ns~100μs幅、800V _{P-P}
〔回転装置〕	電動モータ駆動 回転体の長さ 最大搭載重量 設定加減速度 運転制御															
〔計測制御〕	最大周速 400km/h 直径 9.55m (円周30m) 50kg 0.5~5km/h/s 自動 (プログラム制御) および手動															
〔監視装置〕	スリップリング フォトカプラ 20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下)															
〔その他設備〕	監視警報機能 モニター 各部電圧、電流、油圧、温度、回転体の振動 回転室、機器室のITVによる監視															
〔計測制御〕	自動 (プログラム制御) および手動															
〔監視装置〕	20本 (2本電源用、18本計測用) 2ch (アナログ1kHz以下)															
〔その他設備〕	高速ビデオ装置 恒温恒湿装置 サージ試験装置 VHS、200コマ/秒 -30℃~+80℃ 100ns~100μs幅、800V _{P-P}															
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="391 1444 1037 1982"> <p>装置全体図</p>  </div> <div data-bbox="901 1232 1316 1489">  <p>1F 回転体</p> </div> </div>															
担当部署	信号通信技術研究部 信号															

名 称	無線パルス雑音測定用ワゴン車	
概 要	<p>☆電波障害の探査・評価測定の基地として使用できます。 電波雑音強度の測定，放送波等のレベル測定，etc...</p> <p>☆無線伝送試験の移動局や仮設基地局として使用できます。 電波伝搬特性の測定，データ伝送品質の測定，etc...</p>	
特徴・諸元	<p>電動伸縮アンテナポール，測定台，発電機，車内・車外照明などを搭載しており，鉄道沿線等のフィールドにおいて，各種の無線や電波雑音に関する試験を実施できます。</p> <p>◆主 要 諸 元</p>	
	<p>〔車 種〕 〔寸 法〕 〔重 量〕 〔主な装備〕</p>	<p>トヨタハイエースワゴン（2800ccディーゼル，4WD） 長さ4.8m×幅1.7m×高さ2.4m 2.1t（最大積載量400kg） 電動ポール（最大高8m） 測定台（防震クッション付） 各種測定器（電界強度計，スペクトラムアナライザ，EMI測定器等） 各種アンテナ 外部電源ポート 室内灯・後部作業灯 ケーブル通線孔（屋根上） 大型ルーフキャリア その他測定用機材一式</p>
	<div data-bbox="387 1227 1361 1861" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="676 1868 1074 1899">無線パルス雑音測定用ワゴン車外観</p>	
担当部署	信号通信技術研究部 通信	